

駅前商店街の活性化をなれ!



『たくさんの子供たちが参加してくれました。ハロウィンを榛原駅前商店街で開催しました。ハロウィンってなんだろう?。万聖節(キリスト教で毎年11月1日

にあらゆる聖人を記念する祝日)の前夜祭で、秋の収穫を祝い悪霊を追い出す祭りだそうです。語源はHalloween(神聖な+evening)。

万聖節はAll Hallowsと言います。その前日である事からAll Hallows Eveと呼ばれていたのが、Hallow E'enとなり短縮されてHalloweenと呼ばれるようになったという話があります。そして仮装した子どもたちが街を練り歩き、窓をたたいてお菓子をねだるのは、祭り用の食料をもらって歩い

た農民の様子をまねたもので中世のなごりだそうです。日本でも、イベントとして定着してきました。いろいろな施設や地域でパーティやイベントが開催され様々な商品も販売されています。私たち“まち協”も昨年の10月24日に開催しました。この日は、生憎、市の産業フェスタと重なりましたが榛原駅前商店街の22商店

の協力を得て楽しくハロウィンを行うことが出来ました。参加した150名の子供たちは、それぞれでグループを作り思い思いの仮装で商店を訪れて、出されたクイズのなぞ解きをしながら楽しく街を練り歩きました。子供達と店の方達との歓談が“絆”となり、駅前商店街と地域の活性化につながることを願っております。

榛原地区 まち協だより

28-3月号 発行者 榛原地区まちづくり協議会 代表 南田 英二

頑張っています! 榛原地区まち協!

榛原地区防災訓練を実施しました!

榛原地区まちづくり協議会として二度目の防災訓練を昨年暮れの12月13日に地区内の2つの自治会の協力を得て実施しました。訓練内容は、避難誘導訓練、初期消火訓練、煙体験、炊出し(試食)訓練、防災講話、防災無線講習です。参加者は、120名でした。二度目の訓練ですが参加協力していただいた2つの自治会の方々にはお世話になり紙面を借りてお礼申し上げます。ご承知の通り「東日本大震災」や「阪神・淡路大震災」では多くの尊い命がなくなりました。又、奈良県の十津川においても台風による土砂災害が発生し、多くの人が亡くなっ

ています。このよう重要な災害発生時に重要なのは、いかにして「被害をゼロに、又は、最小限」に止めるかです。そのためには、日頃から自分たちが住んでいる地域の安全を考えた「自主防災の意識」を強く持つことが大切ではないでしょうか。宇陀市全体がそうであるように榛原地区も高齢化が進んでいます。このような時こそ、尚一層、災害に強いまちづ



子供お弁当開発プロジェクト

宇陀市の食材を有効に活用して、お弁当の企画、開発、試食、販売までを、地域の皆様と協力して行っています。

ご指導戴いた宇陀市危機管理課、宇陀消防署等の関係行政機関の皆様、心より厚くお礼申し上げます。

「まち協」として、今後種々の訓練を実施していく予定です。訓練を

「まち協」は、これからも地域の活性化と繁栄につながるイベントを多く企画していきたいと考えています。ご協力をお願いいたします。



「まち協」は、これからも地域の活性化と繁栄につながるイベントを多く企画していきたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

- ・押さない!
・走らない!
・しゃべらない!
・戻らない!

宇陀マルシェ&産直市場を開催



3月6日(日)に、オーガニックブースと地産地消ブースで、とことん「宇陀」にこだわった地産地消市場を

開催しました。危ぶまれた天気も、雨も降らず暖かい日和に恵まれて、たくさんの来場者で溢れか

えっていました。採れたての新鮮な野菜や美味しいラーメン、パンの販売などで協力していただいた12の店も売り切れ続出で「売り手」の顔も「買い手」の顔もこやかで、本当に楽しい一日を過ごすことができました。地産地消とは、ご承知の通り地

